

○事業所名	高志野ベース ライト			
○保護者評価実施期間	2026年1月10日 ～ 2026年1月18日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37人	(回答者数)	19人
○従業者評価実施期間	2026年1月10日 ～ 2026年1月18日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの活動などのスペースが十分に確保されている。	・ 2階スペースや静養室が使用できる。 ・ 遊びの内容に合わせて空間を仕切ることができる。	・ 状況に合わせて活動場所を区切りながら、安全に配慮して 過ごしていく。
2	・ 子どもが過ごしやすく、自己選択できる環境設定になっている。	・ 玩具の種類を豊富に用意しており、子ども自身が遊ぶ玩具を 選び、使用しやすい環境に整えている。 ・ 自分の遊んだ玩具を片付ける療育を目指すことができる。	・ 玩具の整理整頓を子どもたち自身が意識できるように声か けを行っていく。
3	・ 子どもにわかりやすく構造化された環境になっている。	・ トイレが男子専用と洋式の2室が設置されており、状況に合 わせて使い分けることができる。	・ トイレに混雑ができないように環境設定を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 子どもたちの活動に制限がある。	・ 「走る」「跳ぶ」などの身体を大きく動かす運動ができな い。	・ ストレッチをする時間を設けるなど、身体を整える活動を行 い、子どもたちにストレスがかからないように提供してい く。
2	・ トイレ周辺に死角がある。	・ 洋式トイレ前が廊下側になっているため、死角となり常に注 意が必要である。	・ 廊下（死角）で遊ぶことを禁止区域として、絵カードなど でわかりやすく表示し、死角に入らないように見守りを強化 する。
3	・ 適切な職員の配置	・ 2階スペースや静養室などに子どもたちが分散すると、ス タッフの配置がそれぞれに必要なため、連携が取りにくい 時がある。	・ 事前に打ち合わせを行い役割を決めておく。 ・ 想定外の事態が起きたときは、早急に管理者に報告し対応 する。